

UNAFEI 所長挨拶

2014 年 10 月 山下輝年

2014 年 10 月 10 日付けで国連アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI) の第 21 代所長を仰せつかりました。検事生活 30 年のうち国際協力分野での勤務は 4 回目・10 年目になります。その最初が UNAFEI 教官であり (1995 年), 感慨深い異動となりました。

国際協力の原則

「汗出せ 知恵出せ お金出せ」

その意味は, 自ら動き回って努力しましょう (汗出せ)。

物事を進めるには工夫しましょう (知恵出せ)。

人が動くには金が必要です。「時は金なり」, そしてお金は労働の対価です。貴重な時間や労働の提供を意味し, 立派な国際協力です。どれか一つで良いから出しましょう。つまり, 自分が出来ることを身近なところから始めるというのが, この三原則の意味です。「笑顔を出して 心出せ」を加えて国際協力五原則で臨みたいと思います。



タイ矯正訪問団と (2014 年 10 月)

想像と創造を生む多様性

UNAFEI は創設から半世紀が過ぎました。時代は急激に変化し, 通信手段はエメール (航空便) から e メールとなり, 往復書簡に 2 週間を要したものが瞬時となっています。変化に対応するには多様性が必要です。UNAFEI は警察・検察・裁判・矯正・保護・入管の職員で成り立っています。その活動はアジア刑政財団 (ACPF)・JICA・通訳人そして様々な民間ボランティアの方々の協力で支えられています。この多様性を活かして時代に対応していきたいと思っています。

「知・好・楽」で臨む

これは論語に出てくるものです。

知之者不如好之者 (これを知る者 これを好む者に如かず)

好之者不如楽之者 (これを好む者 これを楽しむ者に如かず)

知識や知恵は重要ですが, 好きでやる者にはかなわない。そして「好き」を超えて楽しんでこそ, 良い仕事ができるという意味です。自分が楽しめば周囲の者も楽しくなります。そういう域を目指したいと思っています。

最後に, 私の生年が国連加盟の 1956 年です。そこに縁を感じつつ, 加盟演説のキーワード「東洋と西洋の架け橋」「唇齒輔車の関係」を心に刻み, 微力ながら UNAFEI の活動に貢献したいと思っていますので, 皆様の御協力と御支援を賜りたいと存じます。